

本年度の重点に対する評価

| | | |
|-----------------|---|-------------------|
| 本年度の重点 | 1 | 自分の想いをもち、伝え合う子の育成 |
| 目標（評価規準） | ＜自分を大切に、同じように、他の人も大切に＞意識・態度の育成 | |
| 重点に係る現状 設定理由 | 本校児童は、素直で、優しく、おたやかな子が多い。また、協力的・協動的で、物事に一生懸命取り組むことができる。また、やや主体性（自分の判断や意思に基づき、責任をもって行動すること）に欠け、「自分の想いを伝える力」が弱い実態がある。自分に自信を持ち、自分の考え・想いを持てる等、自己肯定感、自己有用感を高め、自分を大切にすることを育成することで、人権を尊重した教育活動の展開を図りたいと考える。 | |

| 評価資料 | 評価 |
|-------------------------|---|
| 教職員アンケート結果 （具体的方策ごと） | <p>・【豊かな心】「自分を大切に、同じように、他の人も大切に」する子が、育成されている。」という項目では約91%の教職員が「そう思う」「ややそう思う」と評価しているため、重点を意識しての教育活動が行えていると思われる。</p> <p>・「何を学ぶか～他者との関わり～」,「どのように学ぶか～自分の考えを持ち、伝え合うことで、さらに自分の考えを深める～」,「何ができるようになるか～ものごとを多面的・多角的にとらえることができる。思いやりの心を持って行動できる～」という項目では、すべての教職員が肯定的回答をしている。</p> <p>・「何が身に付いたか～多様な価値観を認め、互いの良さを認めること～」という項目では、約96%の教職員が「そう思う」「ややそう思う」と評価している。本年度の重点を意識した授業が行えていると思われる。</p> |
| 各アンケート等の結果 | <p>・児童は「自分を大切に、同じように、他の人も大切に」するようにしている。」という質問項目には、約96%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しているため、自分の良さ、友達や周りの人の良さや多様性を認めようとする意識が昨年同様（94%）、高まっているのを感じる。</p> <p>・保護者アンケートでは、【豊かな心】「自分を大切に、同じように、他の人も大切に」する子が、育成されている。」という項目では約87%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しているため、高く評価されている。「子どもは楽しく学校に通っている」という項目も、肯定的評価が約97%あった。</p> |
| 自己評価結果 （見解と改善方策） | <p>○新型コロナウイルス感染症による制限が緩和されたこともあり、学校行事や日々の生活の中で、6年生や児童会運営委員が、自分たちで楽しい学校を創ろうという意識を持ち、全校をリードする中で、他学年に対する「思いやり」の心も育ってきていると感じる。今年度の重点目標を「自分の想いをもち、伝え合う子の育成」としたことを教職員が意識し、授業の中でも、話し合い活動や関わり合いを多くすることを意図的に組み入れることで、多様な価値観、互いの良さを認める力の育成を図っていた。来年度も、さらに【豊かな心】の育成を目指していきたい。</p> <p>・人権教育を基盤とし、インクルーシブ教育を推進する中で、認め合い、一人ひとりの居場所がある温かな学級・学年・学校づくりを、日常の学級経営、授業、行事の中で、全教職員が変わらず意識してすすめる。</p> <p>・今年度の児童会テーマを、児童が「ぬくもり」と設定したように、より楽しくより温かい学級・学年・学校づくりを、児童たちが自分たちで考え、行動にうつせるよう支援する。</p> <p>・今年度も学校の様子をできるだけ保護者の方に伝えるために、行事だけでなく日常の活動も、学校・学級通信によって意識的に多くの情報を発信した。その結果、保護者アンケートでは、「学校・学年・学級だよりを発信したりして、開かれた学校づくりに努めている」という項目で、約99%が「そう思う」「ややそう思う」と高く評価していただいた。さらにそのことが、「子どもは楽しく学校に通っている。」という項目で、児童も保護者も90%以上の回答が見られたことにもつながっていると考えられる。来年度も積極的に情報発信を行うとともに、児童が保護者に学校での楽しい話を自分から話せるような学校生活の実現を目指していきたい。</p> |
| 学校関係者評価結果 | <p>児童・保護者アンケートの結果をみても、おおむね良好である。登校も集団登校でなくてもよくなったが、高学年の子どもたちが、低学年の子どもを後ろから見守っているのをよく目にする。面とむかった優しさでなくとも、そういう優しさも大切にしていってほしいと思う。来年度も行事や日々の生活の中で、「自分を大切に、そして、他の人も大切に」する子の育成に努めてほしい。</p> |
| 最終改善方策 | <p>以下の3点について、課題等の改善に取り組む。</p> <p>○『学校グランドデザイン』の意図することを全教職員が理解・共有し、「自分を大切に、同じように、他の人も大切に」する子の育成を目指して、すべての教育活動に取り組むことを確認する。</p> <p>○担任一人ではなく、学年や専科の先生も含んだ複数の目で、一人ひとりの児童と関わることで、いじめの未然防止・早期発見に取り組む。</p> <p>○児童が児童会中心に、自分たちで考え、想いを伝える「温かい学級・学年・学校づくり」に取り組めるよう支援する。</p> |

| | | |
|-----------------|---|-------------------|
| 本年度の重点 | 2 | 自分の思いをもち、伝え合う子の育成 |
| 目標（評価規準） | <心と体の健康を大切にし、がんばる>意識・態度の育成 | |
| 重点に係る現状 設定理由 | 本校の児童は、楽しく外で遊んでいる子が多いが、運動や体力向上への意識の差が多い実態がある。また、何事にも取り組もうとはするが、最後までがんばりぬこうとする意志も、強いとは言えない。家庭と連携した基本的な生活習慣の確立を基本に、運動でも学習でも、自分の目標を設定し、そこに向かう思いをもたせ、努力し続ける力の育成を図りたいと考える。 | |

| 評価資料 | 評 価 |
|-------------------------|--|
| 教職員アンケート結果 (具体的方策ごと) | <p>・【健やかな体】「心と体の健康を大切にし、がんばる子が育成されている。」という項目では、すべての教職員が、「そう思う」「ややそう思う」と評価しているため、重点を意識しての教育活動が行えていると思われる。</p> <p>・「保護者や地域の人の声や考えを聞きながら連携・協力をしている。」という項目では、すべての教職員が「そう思う」「ややそう思う」と評価している。家庭と連携した基本的な生活習慣の確立を基本に努力し続ける子の育成をすすめたい。</p> |
| 各アンケート等の結果 | <p>・児童は、「学習や生活において、途中であきらめず、がんばろうとしている。」という項目には、約88%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しているため、「あきらめず、がんばろうとする」意識が育っていると感じられる。</p> <p>・保護者アンケートでは、「心と体の健康を大切にし、がんばる子が育成されている。」という項目には、約94%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しているため、高く評価されている。</p> |
| 自己評価結果 (見解と改善方策) | <p>○新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、朝休み、20分休み、昼休みに元気に遊ぶ児童の姿が毎日見られた。ただ、運動やスポーツに意欲的に取り組む児童と、教室の中にいることが多い児童との、運動に対する意欲の差はまだ大きいので、県教育委員会のわくわく先生の取組や横浜FCのサッカー教室を活用することで、運動を楽しもうとする気持ち、姿勢をさらに育成していきたい。</p> <p>・連絡ノートやアンケートを有効に活用するとともに、保護者会、コミコミスクール、土曜参観授業、個人面談等、保護者と話す機会に、学校で「できていること・できていないこと」、家庭で「できていること・できていないこと」を、学校と家庭で共有することで、児童の基本的な生活習慣の確立、「心と体の健康を大切にし、がんばる子」の育成を、さらに進めていきたい。</p> <p>・今年度より取り入れたメールによる欠席連絡が、教職員の働き方改革につながったのはもちろん、保護者にとっても好評なので、他の場面でもメールの有効利用を考えていきたい。</p> |
| 学校関係者評価結果 | <p>児童・保護者アンケートの結果をみても、おおむね良好である。運動会を一生懸命頑張る姿から、やはり基本的に子どもたちは体を動かすことが好きだというのわかる。毎日校庭で遊んでいる子どもの姿をみると、意識の差はそれほど気にしなくても良いと感じる。ただ、個々の保護者の意識も変わってきているので、さらに保護者との連携を深めて、基本的な生活習慣の確立等に取り組んでほしい。</p> |
| 最終改善方策 | <p>以下の3点について、課題等の改善に取り組む。</p> <p>○『学校グランドデザイン』の意図することを全教職員が理解・共有し、「心と体の健康を大切にし、がんばる子」の育成を目指して、すべての教育活動に取り組むことを確認する。</p> <p>○保護者会や個人面談だけでなく、学級・学校通信等を活用して、家庭と連携した基本的な生活習慣の確立を目指す。</p> <p>○生活・学習・運動面において、「めあて」と「振り返り」を大切に、自分の目標を設定し、その達成に向けて、途中であきらめずがんばる力を育成していく。</p> |

| | | |
|-----------------|---|-------------------|
| 本年度の重点 | 3 | 自分の想いをもち、伝え合う子の育成 |
| 目標（評価規準） | ＜主体的に考え、学び合い、解決しようとする＞意識・態度の育成 | |
| 重点に係る現状 設定理由 | 本校の児童は、やや主体性（自分の判断や意思に基づき、責任をもって行動すること）に欠け、自分の考えを絶対に実行に移すなどの意志等を含めた「自分の想いを伝える力」が弱い実態がある。「初声小学校グランドデザイン」の中心となる資質・能力の育成の中の、「何を・どのように学び・何が身に付き・何ができるようになるか」を常に意識した授業を行うことで、目標の達成を図りたい。 | |

| 評価資料 | 評 価 |
|-------------------------|---|
| 教職員アンケート結果 （具体的方策ごと） | <p>・【資質・能力の育成】「主体的に考え、学び合い、解決しようとする子が育成されている。」という項目では、すべての教職員が、「そう思う」「ややそう思う」と評価しているため、重点を意識しての教育活動が行えていると思われる。</p> <p>・「何を学ぶか～基礎・基本、見方・考え方、学び方～」、「どのように学ぶか～学習のめあてを意識し、学習する。自分の考えを持ち、伝え合うことで、さらに自分の考えを深める。～」、「何ができるようになるか～自分から好奇心・向上心を持って、学び続けることができる。学んだことを自分の生活や考えに生かすことができる。～」という項目では、すべての教職員が「そう思う」「ややそう思う」と評価している。</p> <p>・「何が身に付いたか～自分の学びの現状を把握し、主体的に課題解決に取り組むこと。学びを自分ごととして、捉えること。～」という項目では、約96%の教職員が、「そう思う」「ややそう思う」と回答している。</p> |
| 各アンケート等の結果 | <p>・児童は、学習についてのすべての項目について、「そう思う」「ややそう思う」と86%以上が回答をしているので、児童が主体的に考え、解決しようとする授業が展開されていると考える。また、「あまり思わない」「思わない」の回答も約8%と、昨年の10%より少なくなっている。</p> <p>・保護者アンケートでは、「主体的に考え、学び合い、解決しようとする子が育成されている。」という項目では、約82%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しているため、高く評価されている。ただ、「あまり思わない」「思わない」の回答が約13%だったことを課題ととらえ、取り組んでいく。</p> |
| 自己評価結果 （見解と改善方策） | <p>○新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、今年度の重点目標「自分の想いをもち、伝えあう子の育成」を常に意識して、話し合い・学び合いを主体とする授業、「主体的に考え、学び合い、解決しようとする子の育成」を目指した授業や活動を行ってきた。その結果、児童の「自分から取り組もうとする意識・態度」は高まったように感じる。</p> <p>・4年ぶりに校内研究の成果を発表する公開授業研究会を行った。年間の研究の取組の中で、「学びのプラン」「めあて」を明確にし、心が動く「課題」を考え、「伝え合い」の活動を設定し、「振り返り」を大切にするとする授業での展開を全教職員が意識し、指導案検討、研究授業を行った。その成果が、公開授業研究会に表れ、参加した市内の教員、講師の先生方から高い評価をいただいた。</p> <p>・『学校グランドデザイン』の資質能力の育成、「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」、「何が身に付いたか」、「何ができるようになるか」を一つ一つ見直すことで、全教職員が日々の授業をどのように展開するかを考えることができたことが、上記の成果にもつながったと考える。</p> <p>・教職員の異動により新しいメンバーも入るが、『学校グランドデザイン』を軸に、自分たちが目指す方向を確認しながら進めていきたい。</p> |
| 学校関係者評価結果 | <p>児童・保護者アンケートの結果をみても、おおむね良好である。指導体制をさらに充実させ、複数の教職員の手で子どもを指導・支援して欲しい。また、保護者や地域の人の中には講師をお願いできる人も多いと思うので、そこも有効利用しながら、さらに子どもたちの興味・関心を高める工夫を行って欲しい。</p> |
| 最終改善方策 | <p>以下の3点について、課題等の改善に取り組む。</p> <p>○『学校グランドデザイン』の意図することを全教職員が理解・共有し、「主体的に考え、学び合い、解決しようとする子の育成」を目指して、すべての教育活動に取り組むことを確認する。</p> <p>○令和5年度の重点目標である「自分の想いをもち、伝え合う子の育成」は、来年度も継続して重点目標とすることで、さらにこのことを意識した授業を進めていく。</p> <p>○今年度の公開授業研究会で国語の研究に一区切りをつけ、来年度は、新たなテーマを考え校内研究推進の取組・研修をすすめることで、さらに児童の資質・能力の育成に努める。</p> |